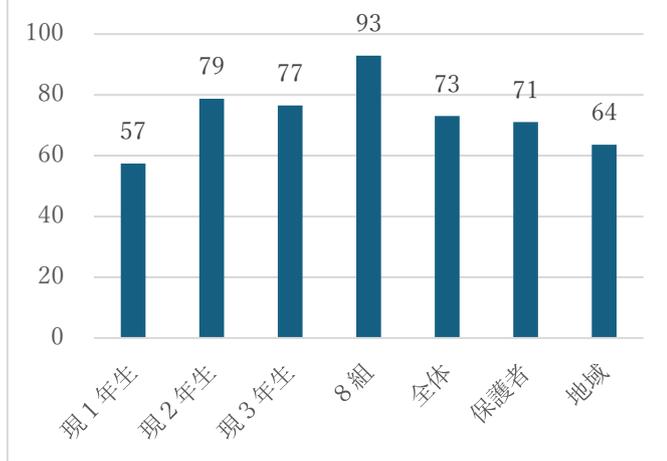
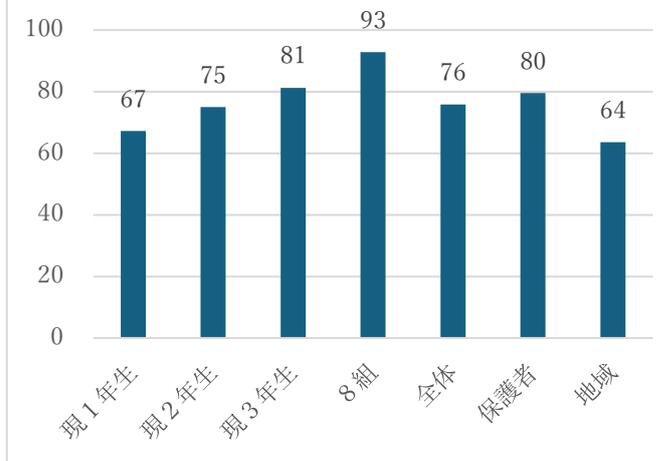


令和7年度 第一回 学校評価アンケートまとめ（肯定的評価%）

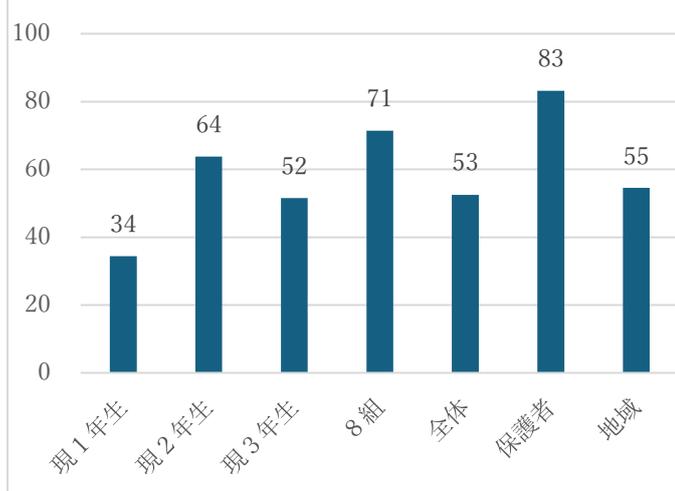
1. 学校の経営方針



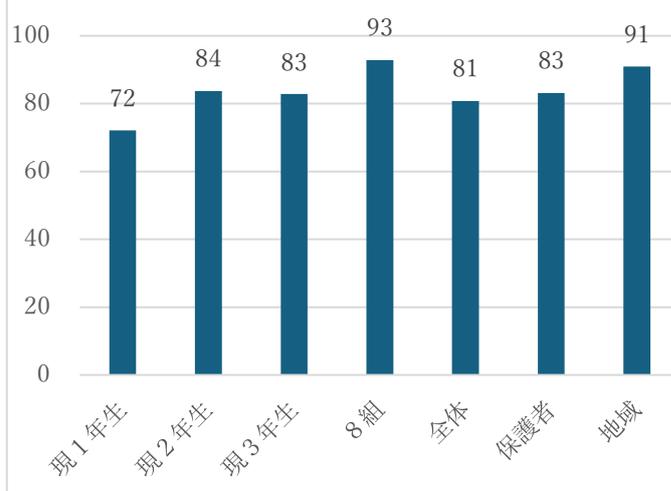
2. 力を入れている取り組み



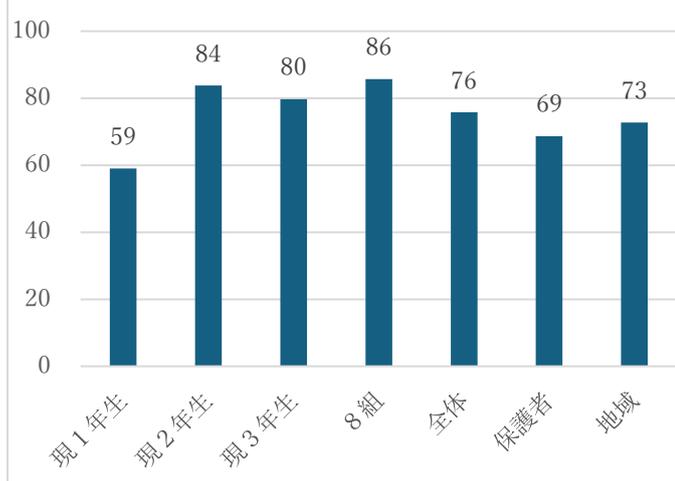
3. 小中一貫教育への取り組み



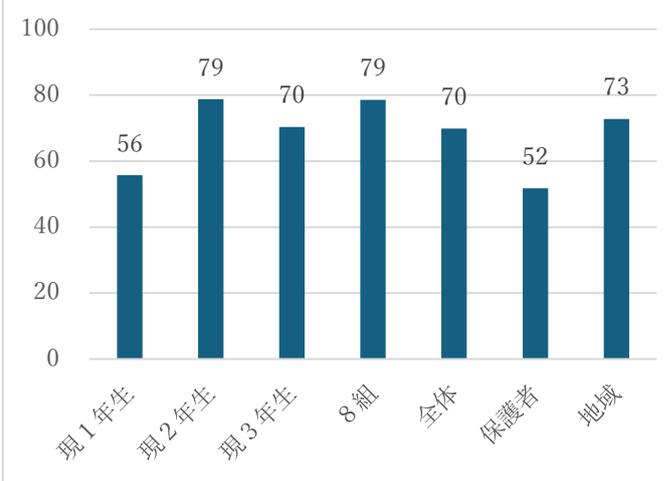
4. 避難訓練等安全管理



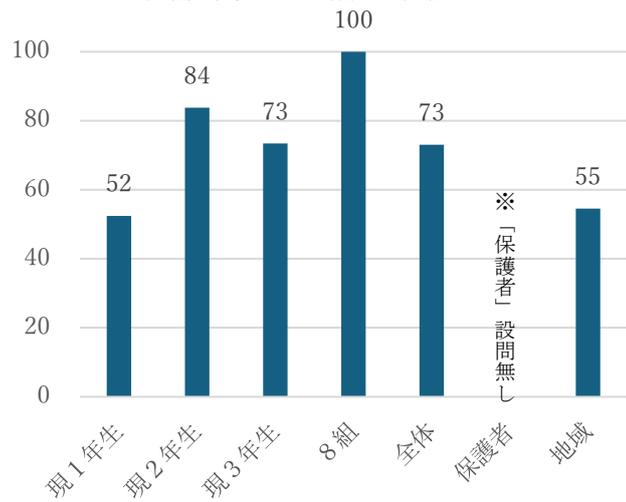
5. 自分の大切さ、他人の大切さ



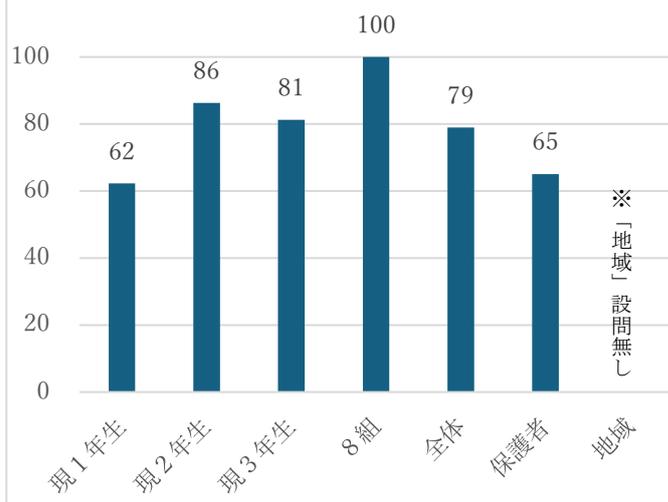
6. いじめの未然防止



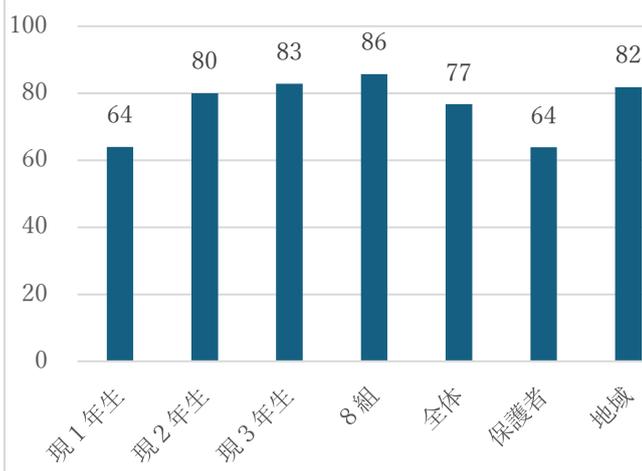
7. 学習環境の整備、学級づくり



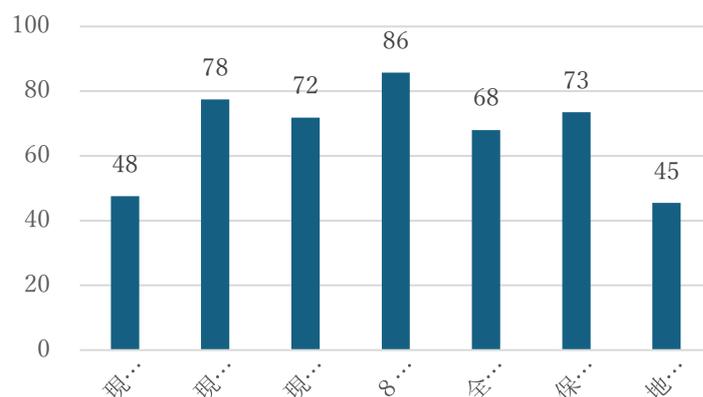
8. ICT機器活用など、授業に対する工夫



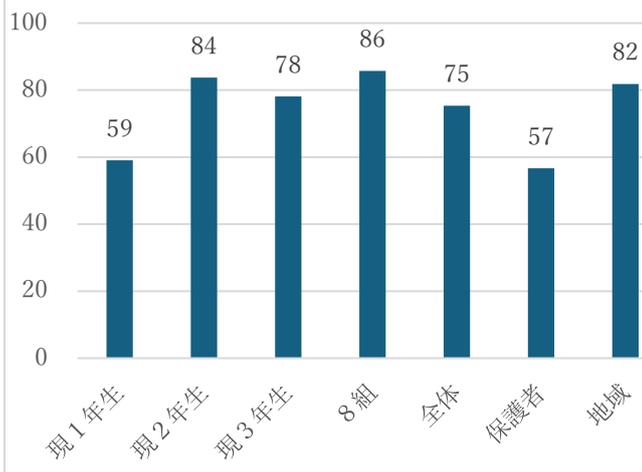
9. 生活指導の目標やきまりを守る



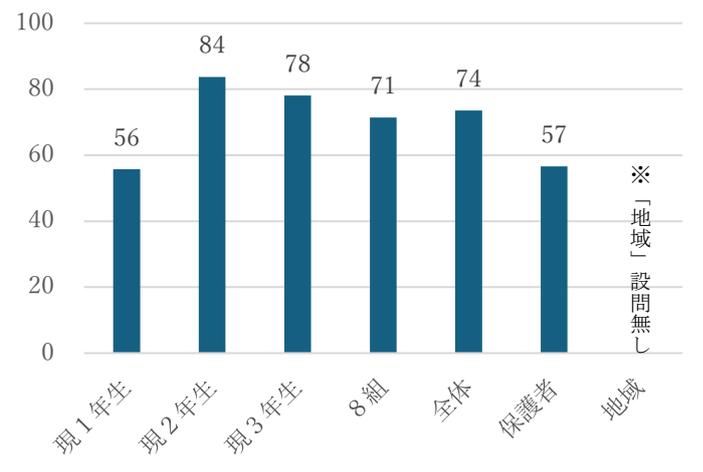
10. 生き方や将来についての指導
(キャリアパスポート)



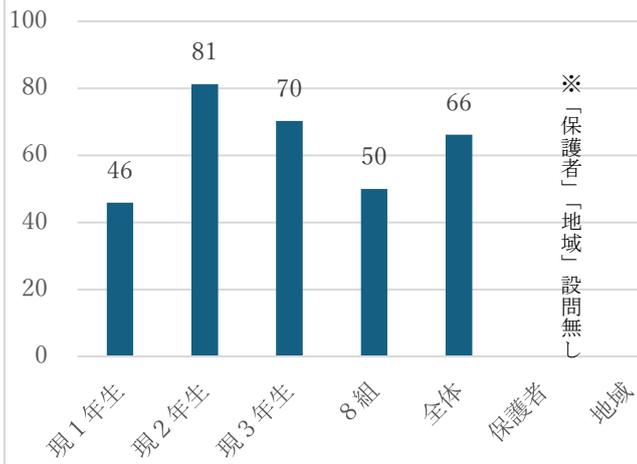
11. 学習環境の整備



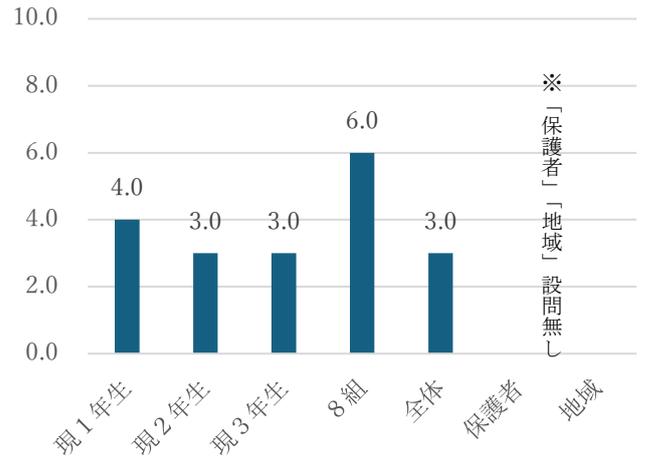
12. 学習活動に対して適切・公平



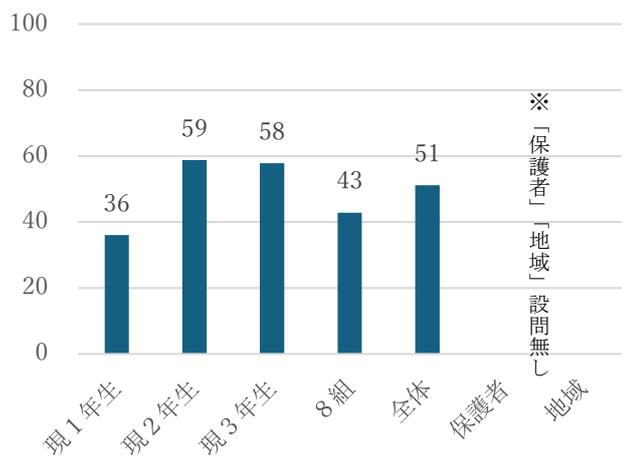
13. 授業外での勉強



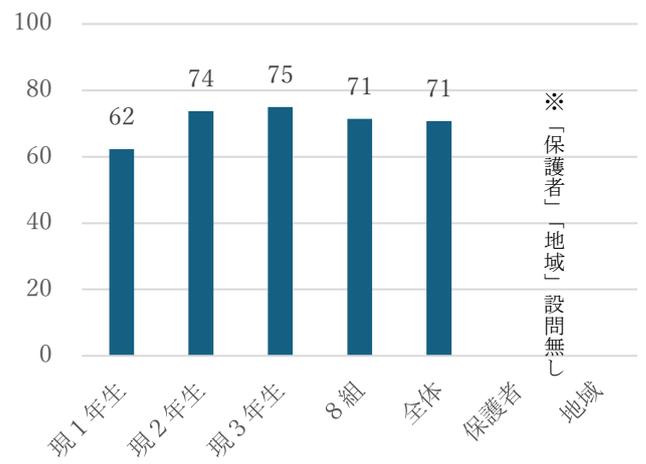
14. 朝読書の冊数（平均冊数）



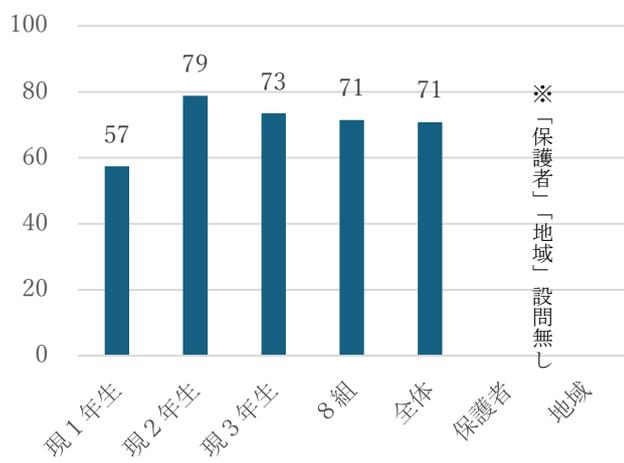
15. ボランティア活動への参加



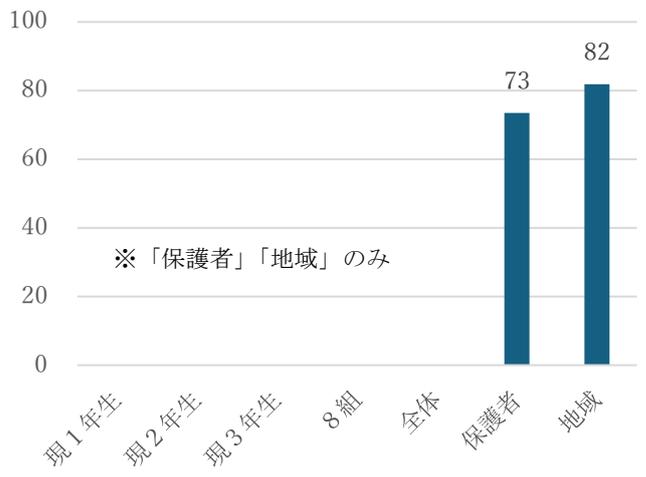
16. 優しい言葉使い



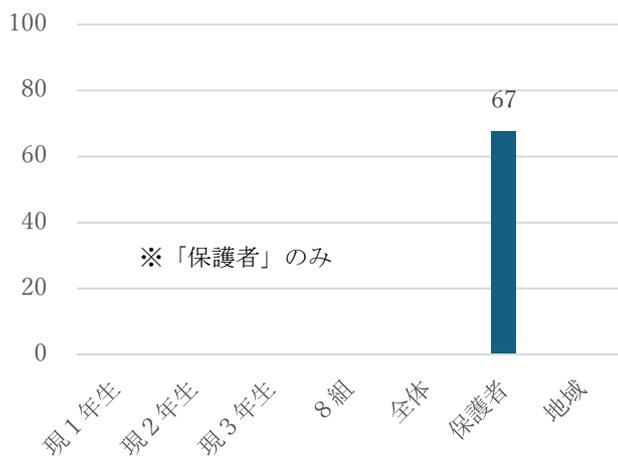
17. 前向きな取り組み姿勢



18. 保護者・地域への適切な情報提供



19.特別支援教室への取り組み



20.地域運営学校



21.教職員と地域のかかわり



今年度もアンケートのご協力、心より感謝申し上げます。皆様からいただいた貴重なご意見は、今後の教育活動をより良くしていくための大きなヒントとなります。

特に生徒の皆さんが率直な気持ちを伝えてくれたことに深く感謝しています。皆様の声に真剣に向き合い、改善すべき点は対応してまいります。

今後とも、学校への温かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

アンケート結果を見て

■1年生に「学校経営方針」「自分の大切さ、他人の大切さ」「いじめ未然防止」について、入学当初の徹底を図る必要がある。また、学年集会等で「命の大切さ」の授業の充実を図る。

■いじめ未然防止への取り組みとして、定期的なアンケート、相談窓口の徹底に努める。

■小中一貫教育では生徒自身にどのようなメリットをもたらすのかを感じる取り組みを考える必要がある。

■ICT等を使用した授業展開より、生徒の興味関心を引き出す授業改善が求められる。

■学習習慣、ボランティア活動、言葉遣いの指導などより個人的・具体的なサポートを強化していく必要がある。生徒の主体性を促す取り組み（生徒会主催募金活動、挨拶運動、部活動紹介等）を効果的に充実させる必要がある。

■生徒、特に新入生へのよりきめ細かなサポートと、学校の取り組みの「生徒への伝わり方」を改善していくことが必要と考えられる。